

【スズメバチ編】知ってて役立つ奥日光知恵袋

初めに

これからなるべく出会いたくない奥日光に住む動物たちについて紹介します。
その動物たちはもともと奥日光に住んでいて、私たちが彼らの住む場所へお邪魔していることを理解してください。

ここで紹介する動物のほとんどは人間を怖がり、自分から敵意をもって人に近づいては来ませんが、自分たちに危険と判断すれば攻撃してきます。

そして、その動物たちが人に危害を加えたら・・・人により**駆除**されます。

これからご案内することは、自分の身を守るだけでなく、人の都合で理不尽に駆除される動物を少しでも減らすために必要な知識です。どうぞ頭の片隅に置き留めて奥日光ハイキングをお楽しみください。

【巣に近づかない】

1、最も危険なのは巣に近づくこと。大前提として遊歩道をから外れない

- ・奥日光の木道は安全に歩けるよう管理されています。
スズメバチの巣は5月頃から数か月かけて大きな巣となっていきます。
奥日光の遊歩道は毎日のように自然観察員やガイドさんが歩いて、皆様が安全にハイキングを楽しめるように遊歩道のチェックしています。木道の近くで巣ができた場合は大きくなる前に関係各所に連絡がいき適切に処理されます。
当たり前の事ですが、**遊歩道から外れて歩かないでください。**

2、羽音が聞こえたら注意。周りをしつこく飛び回っていたり、ホバーリングしていると近くに巣があるかもしれません

- ①こちらに気付かせるように周辺を飛ぶ。
- ②空中で停止し威嚇。
- ③歯でカチカチと音を鳴らし威嚇。

最初に注意するのが、**単独行動**でたまたまそこにいるだけなのか、**威嚇行動**をしているのかを判断することです。
単独で行動している場合はすぐにスズメバチから離れていくのであまり気にしなくても大丈夫ですが、上記の①②のような状態のときは近くに巣がある可能性が高いです。

③の時は・・・残念ながらほぼ確実にあなたは巣のそばにいます。

この段階ではまだ威嚇【これ以上近づくな！】とっています。速やかにその場を離れてください。

こんな時の対処法

- 頭をタオル等で隠し、身を低くして50m程度落ち着いて離れてください。
本来なら来た方向へ逃げるのが理想的ですが、ご判断はお任せします。
- ③の場合は、悪いことは言いません。来た方向へ戻ってください。

【怒らせない】

1、手でスズメバチを追い払うような仕草をする

例えば、近くに1匹のスズメバチが飛んでいたらとします。それに気が付いたらびっくりして手で追い払いますよね。
これ**絶対やっちゃいけません。**

スズメバチは横の動き、素早い動きに反応します。
この手の動きがスズメバチにとっては【攻撃された】となり【こいつは敵だ！】と反撃します。

2、大声をあげたり、騒いだりする

これも気持ちはわかります。が、やっぱりやっちゃいけません。
スズメバチに限らず、動物相手に大声をあげるとほとんどの場合状況が悪化します。

襲われた相手が人間だった時に限り大声で叫んでください。

スズメバチは音や振動にも反応します。こっちもびっくりしますが、蜂のほうもビックリするのです。

大切なのは心の準備

事前にスズメバチが出てくる可能性のあることを頭に置き、もし出会った時に条件反射しないように心の準備しておく。
これが結構重要なことで、結果的に自分の身を守ることになります。要はパニックにならないこと。
威嚇すらしていないスズメバチは、落ち着いて数メートル離れるだけで十分安全です。

スズメバチはサムライ

自然界での警告色【黄色・黒】の模様で危険を知らせ、
大きな羽音で周辺を飛び、歯でカチカチと音をたてて威嚇し、それでも近づいたら攻撃する。

例えば、

- 【黄色・黒の模様】＝わかり易く腰に刀をぶら下げて、
- 【羽音をたてて周辺を飛ぶ】＝おい、お前！と声を掛けて、
- 【歯でカチカチと威嚇】＝寄らば切る！！と、言っているのに

近づいたり、攻撃したり(手で払う)、だれか～助けて～と叫んだり(大声を出す)したら切られ(刺され)ます。

都市部に住んでいても、スズメバチは一生のうちに何度か出会うと思います。
事前学習の機会に是非スズメバチの言葉を児童様にご指導下さい。

【刺されないように】

ここでは、【予防】つまり奥日光ハイキングの準備段階で出来ることをご紹介します。

1、服装

帽子	蜂は黒い色を認識しやすいそうです。頭を守るためにも帽子・バンダナ等は必須。
タオル	汗拭きにはもちろん、首に掛けておくことで首筋の露出を減らせます。
軍手	虫から手を守るだけでなく、転んだ時にも手を守ってくれます。
長袖	スズメバチもいますが蚊やアブもいます。森の中を歩くときは長袖が必須。
長ズボン	スカートや半ズボンは厳禁！ハイキングの際は長ズボンを徹底してください。転んだ時の怪我の軽減にもた
靴下	くるぶしまでの短い靴下は止めた方が良いでしょう。蚊やアブは足元あたりも狙います。

2、虫よけスプレー・整髪料・香水・柔軟剤はきちんと選ぼう

虫よけスプレーをしたから蜂はよって来ない？なんていうのは大間違い。むしろ蜂が寄ってくる場合があります。

市販のほとんどの虫よけスプレーは、蚊・アブ・ノミ・ダニ等血を吸う虫が対象となります。甘い香りのする虫よけスプレーを使っているとかえって蜂が寄ってくる場合があります。

ハッカの香りは蜂も嫌うといわれておりますが、攻撃スイッチの入ったスズメバチ相手には全く効果がありません。

奥日光では虫よけスプレー、整髪料、香水等の甘い香りのものは避け利用しましょう。

近年、香りが持続する**柔軟剤**が流行っていますがもあれも注意です。

甘い香りは蜂のフェロモンと似ているといわれています。

フェロモンは蜂が何かを刺した時(攻撃した時)に空気中に拡散される興奮物質で、仲間を呼び寄せます。

つまり、興奮状態のスズメバチが呼び寄せられるということです。

【刺されてしまったら】

【ポイズンリムーバー】という商品があるのはご存知でしょうか？こちらは、虫に刺された際に毒を取り出す機器です。

ただし、刺された直後の応急処置として有効な商品ですので団体行動の時にはクラスに1つ、班行動の時には班に1つは準備しておくとお安心です。

① 安全な場所まで離れる。

蜂に刺されると、毒液の中にあるフェロモンが空気中に撒き散られ仲間を呼び寄せます。

つまり、**その場に留まっていると興奮状態の多くの蜂があなたを襲いにきます。**

まずは刺されたら、頭をタオル等で隠し、身を低くして落ち着いてその場から離れてください。

絶対にダメな例

・痛くて歩けない。とその場に留まる。

スズメバチが近くにいる状態では、助けに行くのも危険です。なので自分で歩いてください。その場所は危険です！そのうちフェロモンに呼び寄せられ多くの蜂が集まってきます。

痛くて歩けないなんて気のせいです。歩けます！

大声を出さず、ゆっくり1歩1歩その場から離れてください。

とにかく渾身の力を振り絞り、数分間、数十メートルだけでもそこから離れてください。

② 傷口を洗い流し毒を抜く。

傷口を洗い流し、ポイズンリムーバー又は傷口の周囲をつまむなどして毒を出してください(ここまで目安2分以内)。

× この時、口で吸ってはいけません。歯茎や傷口から毒が入り二次被害の可能性があります。

③ 傷口を水で冷やす。

× 蜂の毒はタンパク質なので、小便をかけても毒は中和されません。

④ 一般市販されている虫刺されの薬(抗ヒスタミン剤を含むステロイド系軟膏)でケアする。

どんな薬かは保健の先生に聞いて準備してください。

⑤ 上記はあくまで応急処置です。必ず病院で診断・治療してもらってください。

ミツバチやアシナガ蜂などに刺された場合は、状況により必ずしも病院に行く必要はありませんが、

スズメバチは別格！必ず病院で治療してもらってください。

【最後に】スズメバチについてのまとめ

いろいろ怖くなるような内容をご紹介しましたが、

遊歩道周辺は多くの方が歩くため、自然ガイドの方々が日々パトロールをしております。

もし巣が出来た場合管理箇所へ連絡がいき対処されるようになっております。

最近では都市部でもスズメバチの巣が作られていますので、**奥日光は管理されている分安全**ともいえます。

決められた遊歩道を歩く + スズメバチがいても怒らせない

日常生活と同程度に安全

ルールを守って安全に奥日光をお楽しみください。

万一の場合の準備

問題点としては市街地と違って万一の時、救急車を呼んでもすぐには来ないということ。それは、時間との戦いになるアナフィラキシーショックの時に対応が遅くなるということです。

スズメバチによるアナフィラキシーショックの可能性がある場合には、必ずアドレナリン自己注射薬をお持ちください。